

北海道森林管理局

〒064-8537 北海道札幌市中央区宮の森3-7-70
TEL 011-622-5232(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通5-9-16
TEL 018-836-2014(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>

関東森林管理局

〒371-8508 群馬県前橋市岩神町4-16-25
TEL 027-210-1156(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>

中部森林管理局

〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5
TEL 026-236-2525(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>

近畿中国森林管理局

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-8-75
TEL 06-6881-3420(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

四国森林管理局

〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30
TEL 088-821-2010(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

九州森林管理局

〒860-0081 熊本県熊本市西区京町本丁2-7
TEL 096-328-3500(総務課)
<https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

森林技術総合研修所

〒193-8570 東京都八王子市廿里町1833-94
TEL 042-661-7121(総務課)
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu_zyo.html



〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1
TEL 03-3502-8111(代)
林政部林政課(総合職採用担当)
TEL03-3591-6881
国有林野部管理課(一般職採用担当)
TEL03-6744-2316
<https://www.rinya.maff.go.jp/>

(交通) 地下鉄霞ヶ関駅
(丸ノ内線、日比谷線、千代田線)下車
農林水産省7F

採用情報はこちら



森と人と、未来。

FORESTRY AGENCY

林野庁

2026 入庁案内



日本の森林率

66%

日本は国土の約7割が森林です。

この森林の中には、個人や企業、自治体が所有している「民有林」、そして、国民の森林である「国有林」があります。

森林には、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産といった多面的な機能があります。林野庁は、将来にわたって健全な森林を維持し、森林の多面的機能を発揮させるため、森林の適切な整備・保全にかかわる様々な課題に取り組んでいます。

いま、戦後植えられた人工林が育ち、豊富な森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を通じ、次の世代に向けた持続可能な森林づくりを進める時にあります。しかしながら、森林所有者の林業経営への関心が薄れ、適切に管理されていない森林もあります。林業経営を活性化するためには、生産性の向上や木材需要の拡大に向けた取組が不可欠です。

同時に、森林は生物多様性の保全や山地災害を防止するために重要な役割を果たします。奥地の急峻な山脈や水源地域をはじめ、国土に広く分布する国有林では、木材の生産による地域への貢献だけでなく、公益性の発揮を目指した管理経営が一層重要です。

さらに、山村の振興や鳥獣害対策にいたるまで、森林にかかわる仕事は幅広く、そのフィールドは全国に広がっています。

私たちとともに森林と人の未来を創っていきませんか。

CONTENTS

01 林野庁について	3
02 職員紹介	7
03 キャリアパス・研修制度	13
04 新規採用職員の声	15
05 ワークライフバランス	17
06 採用情報	18

FORESTRY AGENCY

林野庁

森林技術総合研修所

林野庁

組織と仕事

林野庁本庁

森林・林業政策の企画・立案

林野庁本庁では日本の全ての森林と林業・木材産業に関する政策の企画・立案を行っています。林業の成長産業化、森林整備、山地災害対策、山村振興、生物多様性保全、地球温暖化対策など、ローカルからグローバルまで、幅広い課題に取り組んでいます。

林政部

林野庁の全ての施策に関して、予算や制度のとりまとめを担っています。林業の成長産業化に必要な森林資源の循環利用の確立を目指し、木材の利用促進やサプライチェーン構築に取り組んでいます。木材の輸出や合法伐採木材の利用促進、林業の担い手の育成に向けた経営体の支援なども実施しています。

- 林政課
- 企画課
- 経営課
- 木材産業課
- 木材利用課

森林整備部

森林所有者や自治体などが所有する民有林について、国土保全や水源かん養などの多面的機能が発揮されるよう、森林整備の適切な実施に向けた各種施策を進めています。鳥獣被害対策、治山事業による災害防止・復旧や、デジタル技術の活用によるイノベーション、森林吸収源対策や国際協力も担当しています。

- 計画課
- 森林利用課
- 整備課
- 治山課
- 研究指導課

国有林野部

国土保全、水源かん養、生物多様性の保全や林産物の安定供給に欠かせない国有林野の管理経営を担当しています。国有林の森林計画の作成、造林、間伐、治山などの各種事業の企画・調整を行っています。また、生物多様性の保全と国有林の適切な利用を両立させるための各種施策を推進しています。

- 管理課
- 経営企画課
- 業務課

森林管理局

国有林野の管理経営

日本の森林の約3割は国有林であり、国土の保全、水源かん養等の公益的な機能を有しています。全国7つの森林管理局では、各地方の国有林野の管理経営をとりまとめています。森林管理局のもと、森林管理署等では、国有林野の管理経営に関わる各種事業を行っています。

森林管理局

- 総務企画部
 - 総務課、企画調整課、経理課
- 計画保全部
 - 計画課、保全課、治山課
 - 森林生態系保全センター等
- 森林整備部
 - 森林整備課、資源活用課、技術普及課
 - 森林技術・支援センター等

森林管理署・支署

- 総務グループ
- 業務グループ
- 治山グループ

森林事務所



世界自然遺産の

86%

日本の世界自然遺産の陸域の86%が国有林です。林野庁ではこれらを森林生態系保護地域に設定し、保護・管理しています。

国産材の

15%

国産材の約15%は国有林から供給された木材です。国有林野事業では、木材を安定供給する体制づくりに取り組んでいます。

WORKS

業務紹介

森林整備による適切な森林づくり

森林の有する多面的機能を適切に発揮させるため、間伐や主伐後の再造林等を着実に進めています。再造林の実施に当たっては、成長の早いエリートツリー等の活用による低コスト化を図るとともに、花粉の少ない森林への転換を図る花粉発生源対策を推進しています。



生物多様性の保全

国有林野における生物多様性の保全を図るため、国有林野事業では「保護林」や「緑の回廊」を設定し、モニタリング調査等を通じて適切な保護・管理に取り組んでいます。また、地域の関係者等との協働・連携による森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等の取組を進めています。



2050年 ネット・ゼロに向けて

地球温暖化防止には、CO2の排出削減とともに、CO2の吸収源を確保することが重要です。森林の炭素吸収の働きを効果的に発揮させるため、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進しています。



木材利用の促進

製材等のJAS構造材、CLT(直交集成板)、木質耐火部材等の普及を通じて、非住宅・中高層建築物の木造化や木質化を推進しています。さらに、木質バイオマスのエネルギー利用、CNF(セルロースナノファイバー)や改質リグニン等の技術開発・実用化によって国産材の新たな需要創出と利用拡大に取り組んでいます。



山地災害の防止・復旧

台風や集中豪雨、地震等による被害の未然防止および崩壊地の早期復旧のため、治山施設を設置しています。大規模な山地災害発生時には、専門的な技術・知識を有する職員の派遣やヘリコプターによる被害調査等により、災害復旧に向けた技術的支援を行っています。



森林環境教育

国民の皆様にも広く森林に親しんでいただけるよう、国有林のフィールドを提供しています。「レクリエーションの森」の選定・整備を行うほか、「遊々の森」や「ふれあいの森」の設定・活用等、国民参加の森林づくりに取り組んでいます。また、学校、NPO、企業等と連携して「森林環境教育」を推進しています。



デジタル技術による林業の効率化

林業の生産性・安全性・収益性を高めるため、様々なデジタル技術の活用を推進しています。



野生鳥獣害対策

シカ等の野生鳥獣による被害対策として、地域の関係行政機関等と連携し、防護柵の設置、生息・分布調査や被害調査、わな等による捕獲を推進しています。



国際協力

国際協力機構(JICA)が実施する技術協力プロジェクトへの専門家派遣や、訪日研修の受け入れを通じ、途上国での持続可能な森林経営や、気候変動対策への支援を行っています。



天田 慎一

林野庁森林整備部整備課
造林間伐対策室長
H12入庁 1種(林学)

森林は、植林、下刈り、間伐などの適切な整備を行うことにより土砂災害の防止、水源のかん養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材の供給などの多面的機能を発揮しています。造林間伐対策室では、これらの整備に対する支援を行う森林整備事業(いわゆる造林補助事業)等の補助事業と林業用苗木を主に担当し、自分を含めた15名が4つのユニット(班)で業務を行っており、私はその統括をしています。

主な業務の一つは、森林整備に係る補助事業等の企画と運営です。いわゆる造林補助事業は、戦前にその基となる制度が創設され、森林資源の状況や時代時代のニーズに合わせてその内容を拡充し、形を変えてきま

した。最近では、再造林確保のための省力・低コスト造林の推進、国民病と言われるスギ花粉症への対策や、岩手県大船渡市での大規模な山林火災、クマの大量出没といった社会的にも注目を浴びた課題に対応するため、関係機関との折衝等を行い、新たな事業内容を加えています。

また、森林整備に係る補助事業は、全国で毎年10万件以上の事業が、森林組合や林業会社などの多くの方々によって実施されており、補助金を交付する都道府県の皆さんと議論を重ね、それぞれの地域における計画や実施状況等に目を配り適切な事業実行に取り組むほか、熱中症対策や通信確保など現場で働く皆さんの労働環境の改善につながるような取組も進めています。加えて、林業の出発点である苗木の生産振興等も担当しており、都道府県や全国の苗木生産者の皆さんと意見を交わしながら、苗木生産の拡大や生産性向上等の取組への支援などを行っています。

このように造林間伐対策室は、全国の森林・林業に係る課題に様々な切り口から関わっており、その責任は大きいと感じますが、それ故にやりがいのある職場です。



森泉 鳳介

関東森林管理局計画保全部計画課
経営計画官
H30入庁 一般職(林学)

私は国有林野事業の土台となる森林計画を策定する業務に携わっています。ここでは将来に向けて目標とする森林を考え、どう誘導していくかを定めることができるため、とても重要でやりがいのある仕事だと感じています。例えばGISを使った地図修正や、森林調査簿の土地に対する法令制限の該当を整理するなど、デスクワークが中心ですが、夏には、現地調査として各地に赴き、森林管理署の担当者と実際の山を見ながら今後の管理方針を相談し、施策計画に反映させています。森林計画の内容は多岐にわたるので、様々な制度について勉強する必要があり苦労しますが優しい方が多く、困っても相談しやすい環境です。ぜひ一緒に働いてみませんか？



高橋 和子

東北森林管理局山形森林管理署
最上支署大蔵治山事業所 治山技術官
H25入庁 一般職(林業)

治山事業とは、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の涵養、生活環境の保全・形成等を図る重要な国土保全政策の一つです。私は、山形県最上郡大蔵村に位置する「銅山川地区」で、民有地において発生した大規模な地すべりの防止対策を実施する「民有林直轄地すべり防止事業」を担当しています。平成4年度からはじまり令和8年度をもって事業概成となる節目を迎えますが、国有林とは一味違う業務に携わられていることはとても勉強になります。何年経っても新しい発見に出逢える職場だと思います。私たちとともに一緒に働いてみませんか。

MESSAGE 職員紹介



川上 華子

林野庁森林整備部計画課
森林計画官
H28入庁 総合職(森林・自然環境)

現在の仕事内容

森林が二酸化炭素吸収機能を発揮するために必要な対策である「森林吸収源対策」を主に扱っています。森林吸収源対策の内容や事業量、適切な対策が行われた場合に森林が吸収する二酸化炭素量の試算、実績のフォローアップ、各種計画への記載、関連予算・関連税制の状況把握など、様々な分野に携わることができるポストです。森林吸収量の算定方法見直しに伴う将来試算方法の再構築や低密度植栽を行った場合の従来との違いの考察など、正解が存在しない難題と向き合う時もありますが、そのたびに幅広い知識が得られることが嬉しく、日々楽しく仕事をしています。

入庁理由

大学で森林について学ぶ中、山地災害防止など森林の多面的機能によって日常生活が守られていること、また、日本に森林が多いのは決して当たり前ではなく先人たちの努力の結果だと知ったことで、豊かな森林を享受できていることへの感謝が生まれ、自分も次の世代に豊かな森林を残すために何かしたいと思い、林野庁を志しました。

印象に残った出来事

入庁7、8年目で林業金融を担当したとき、様々な林業関係資金の融資条件の見直しを行いました。昭和から続く長い資金の歴史の中で融資条件がどう変わってきたのか、背景にはどんな時代的要請や政策的意図があったのかを把握するためには、融資条件改定のきっかけとなった法律や計画制度の改正、補助事業の要件変更などの内容・経緯も併せて紐解く必要がありました。膨大な情報量で時間もかかりましたが、常識として定着している考え方や昔からある制度であっても、創設時の背景を理解し、時代にあわせて変えることも重要なだと教えてくれた大切な経験です。

VOICE
01



社内での和やかな打合せの様子。

石倉 悠裕

林野庁林政部木材利用課民間施設木材利用促進班
民間施設木材利用促進企画係長
H27入庁 一般職(林学)

現在の仕事内容

主に民間建築物での木材利用の促進を図る業務を担当しています。具体的には、木材利用を広げるため、民間企業や団体の皆様と協議会を開催し、意見交換を行いながら普及資料の作成を行ったり、国と民間の事業者等と建築物に木材を活用する取組や、その普及に向けた具体的な内容を定めた協定を締結するといった業務を行っています。外部の方と接する機会が多く、生の声を聞くことができるため、国としてどのような取組が必要なのか考える毎日です。

やりがい

近年、サステナブルやウェルビーイング、地方創生をキーワードに高層ビルでの木材利用など木造建築物が数多く建てられるようになり、「木っていいよね」、「木材を使ってみよう」という流れが広がってきていると感じています。そうした大きな潮流の中に、自分も微力ながら関わることができていると実感できることが、現在の仕事の大きなやりがいです。

印象に残った出来事

入庁1年目に森林管理署で経理を担当したことは非常にいい経験になりました。当時、森林の現場に入りたくて林野庁に入庁したのに事務仕事ばかりで、現場の担当者をうらやましく思っていました。しかし、最初に経理事務の流れや、やり方を知ることができたことは、後の業務に生きる部分が多く必要なステップだったと実感しました。私たちは役人生活の中で様々な業務を担当しますが、この仕事も後に生きてくるといながら、前向きに仕事に向き合えるきっかけになっていると思います。

VOICE
02



協議会で作成した普及資料(高層木造ビル事例集)。



高倉 大斗

九州森林管理局計画全部治山課
国有林治山係長
H24入庁 三種(林業)

現在の仕事内容

私の所属する九州森林管理局治山課では、近年多発する集中豪雨や地震等に伴い発生した山地災害を復旧し、地域の安全安心につながる治山事業を実施しています。その中で、森林管理署が発注する治山工事の予算管理や積算(工事費の算出)が正しく行われているかの確認や指導、森林土木工事の積算に必要な資料の収集などを行っています。実際に治山工事現場で調査を行うこともあり、工事現場を下支えするため、設計基準の確認や建設工事の働き方改革など、治山事業の実施に必要な知識の向上に取り組んでいます。

職場の雰囲気

職場の雰囲気はとても良いと感じています。日々の仕事のことやプライベートのことなど様々な相談できる職場環境なので、楽しく働くことができ、難しい課題を処理する場合でも先輩方のサポートで乗り越えることもできています。子どもの看護などで急に休みたい場合でも気軽に相談できるため、積極的に育児へ参加することが可能だと思います。仕事も育児もめまぐるしい毎日ですが、雰囲気の良い職場で充実した日々を過ごすことができています。

印象に残った出来事

入庁5年目に平成29年九州北部豪雨で被災した民有林の復旧工事の担当として、朝倉地区民有林直轄治山事業(国が民有林の復旧を行う事業)に従事する機会をいただきました。そこで初めて治山事業の担当となり、大規模な山腹崩壊や土石流の痕跡を間近で見、経験の乏しい私は自然災害の恐ろしさに衝撃を受けました。その後始まった復旧工事では、複数の工事の担当となり、事業者や地元説明会などの対応では大きなプレッシャーを感じ、知識不足を補うために施工現場に行っては勉強の日々でした。3年半の勤務期間は、先輩職員のサポートや地元の方からの感謝の言葉に支えられ、今思えばあっという間の期間でした。

VOICE
03



福岡県内の現場で施工実態調査を実施している様子。



猪迫 舞

四国森林管理局総務企画部企画調整課
企画調整係長
H22入庁 三種(林業)

現在の仕事内容

四国森林管理局に配分されている予算の執行管理と配分調整を担当しています。限られた予算を最大限活用できるように、局内の担当者や打ち合わせを行い、各予算の執行状況や要望を確認し、過不足を解消するために予算配分を調整しています。局内の予算に関するお悩み相談室のようなものです。予定されていたことに変更が生じる場合もあり、柔軟な対応が求められることもありますが、担当者や協力し、国有林の円滑な事業実行のために効果的で効率的な予算執行を心がけています。

やりがい

予算管理がしっかりできているということは、森林整備や災害復旧、国有林の適切な管理など、予定された事業が着実に進んでいるということです。日本の豊かな森林を守り、継承するための業務の一つとして、組織運営を支える予算管理を担っていることは、大きな責任とともに日々やりがいを感じられる仕事です。

職場の雰囲気

経験年数に関係なく、良いアイデアはしっかり評価され、後押ししてくれる職場です。先輩職員に負担に感じていた事務について別方法を提案した際には、「いいね!」と賛同してくれ、実現に向けて関係課と調整する際にサポートしてくれました。みんなでより良い方法を考えてくれる雰囲気、アイデアを発信しやすい環境だと思います。

VOICE
04



日頃からの予算担当者との打合せが重要です。



田中 良

北海道森林管理局知床森林生態系保全センター
係員
R03 入庁 一般職(林学)



業務で使用するドローンを設定しています。

VOICE
05

現在の仕事内容

知床半島は世界自然遺産に登録されており、遺産管理者である林野庁は、遺産としての価値を後世にも残すために知床世界自然遺産地域管理計画に基づき保全・管理を行っています。私は、知床半島の植生調査事業を担当しており、エゾシカが知床の植生に対してどのような影響を与えているのかを委託調査しています。知床半島は希少な動植物が多数確認されている一方で、1980年後半以降エゾシカが増え続けたことにより、嗜好種(エゾシカが好んで食べる種)が減少し、生態系に大きな影響を与えています。そのような背景から、植生調査事業と併せてエゾシカ捕獲事業も行うことで、過剰な嗜好種への食害を抑制し、森林植生被害防止に努めています。

やりがい

知床世界自然遺産の陸域の94%は林野庁が管理・保全を行っている国有林であり、雄大な自然を歩き回り業務を行うというのは今後滅多に味わうことができない業務だと感じています。また、林野庁は「林業」というイメージを持たれている方が多いと思いますが、稀に当センターのように遺産に関わるモニタリング調査を行っている部署もあり、調査同行中に希少野生生物に出会うことも少なくないという点も魅力的です。

林野庁を目指す方へメッセージ

林業に詳しくないので林野庁で働くことはできないと思う方がもしかしたらいるのではないのでしょうか。試験区分によっては林業について勉強しなければなりません。私も含めて、学生時代に林学専攻ではなかった職員も多数在席しています。実際に入庁してみたら、定期的に研修を受講しますので、業務に関する知識は十分身に付けることができます。全国に国有林がありますので、どこかでお会いできる日を楽しみにしています。



多田 陸人

北海道森林管理局上川南部森林管理署
係員(土木担当)
H31入庁 一般職(林業)



新設中の林道の様子。林道規格に合わせて地山を掘削し、上層路盤となる砕石を敷設しています。

VOICE
07

現在の仕事内容

土木担当では林道作設のため、路線等を設計する測量・設計業務及びその設計を基に施工する林道工事、既設の林道を整備し、管理する維持修繕工事に係る業務を行います。また、豪雨等による災害発生時には林道修繕のための災害復旧工事を実施します。林道作設は伐採・造林の施業に伴って施工することから、各事業担当との連携が重要です。工事を計画的に実施するとともに、契約の際は、監督職員として進捗等の現場確認を行います。適切に工事が施工されるよう、こまめな確認と受注者との打合せを行っています。

やりがい

森林を適切に整備するために林道は必要不可欠な存在です。林道がなければ広大な国有林を管理することは難しいです。森林施業の基盤となる林道を計画し、作設できることに私はやりがいを感じています。また、林道は自分の実施した成果が構造物として形に残ります。特に新設では数キロにも及ぶ道を作設することから、何もなかった山林に完成した林道を見ると達成感を感じることができます。

印象に残った出来事

入庁5、6年目に留萌南部森林管理署増毛森林事務所勤務していました。森林事務所では、各事業監督や森林調査などほとんどが現場作業です。毎日山奥での作業は大変ではありますが、身体を動かすことが好きな私にとっては充実した毎日でした。また、冬季の調査では山スキー・スノーモビルの使用もあります。このような経験も山仕事ならではの魅力だと感じました。一年を通して山の移り変わりを感じながら従事した森林事務所での2年間はとても印象に残るものとなりました。



酒井 美佳

中部森林管理局木曾森林管理署
南木曾支署 事務管理官(経理)
H31入庁 一般職(行政)



署内業務のみではなく、契約している検知業務の検査を土場で行っています。

VOICE
06

現在の仕事内容

経理担当として、支署で発注している工事・森林整備事業や庁舎の運営に必要な光熱費・燃料料などの支払手続き、支署内の予算管理や物品管理を主に行っています。工事や森林整備事業の支払いについては、金額が高額となり、使用している経費科目が分かれていることもあるので誤りがないよう細心の注意を払っています。また、物品管理については、鉛筆1本の小さいものから車両まで管理を行っています。日々使用するものも多くあるので不足が生じないように在庫管理を行い、必要に応じて物品調達を行っています。

やりがい

支署内で発注している全ての森林整備事業や工事は最終的に支払いが発生し、その支払いが完了して初めて事業が終了するものであると感じています。取り扱う金額が大きいため、正確性が求められ責任を感じていますが、支払業務を通じて事業を円滑に進め、「縁の下の力持ち」として組織の支えとなれるよう日々業務に取り組んでいます。

入庁理由

私は、大学で法学部在籍していました。公務員試験を受験する学生が多く、公務員という職業が身近であったことから様々な官庁を調べた中で、森林が防災など国民生活に欠かせない役割を果たしていることを知りました。森林の保全だけでなく、木材利用促進など多方面から自然と人をつなぐ業務に魅力を感じ、入庁しました。



永井 純一

九州森林管理局宮崎森林管理署
都城支署 森林情報管理官
H30入庁 一般職(林学)



はい積された丸太の太さ、本数、長さを確認し、生産された木材の数量を確定させます。

VOICE
08

現在の仕事内容

林野庁は、国有林において間伐等の適切な森林整備を行うことで、災害防止、水源の涵養といった森林の多面的機能を発揮させたり、木材生産による林産物供給に寄与しています。この国有林から生産された「木材の販売」が私の仕事です。木材の用途は、建築に用いられる製材用材、バイオマス発電用の燃料となるチップ用材、紙の製造に用いられるパルプ材等様々です。販売先の企業によって要望する樹種・用途・数量も異なるため、生産された材をどこに・どれだけ売れるのか調整することが重要になります。また、品質のよいヒノキや広葉樹については高値が付きやすい木材市場へ出品することもあります。いかに効率よく、いかに高値で木材を売るかが販売担当の腕の見せ所です。

職場の雰囲気

私の勤務している森林管理署では突発的に現場に行ったりすることもあるため、動きやすい業務服(作業着のようなもの)で出勤することがほとんどです。誰もスーツを着ておらず、気さくな方も多いため、あまり公務員っぽくない職場に見えるかもしれません。また、フレックスタイムやテレワークの制度を利用している職員も多く、有給休暇の取得もしやすいため、自分の状況に応じて働き方を柔軟に変更することができる職場です。

入庁理由

私は大学で林業を専攻していたこともあり、森林に関わる仕事に就きたいという思いがありました。そんな中、大学の講義の中で屋久島実習や桜島での治山施設の見学があり、その際に森林管理署の方々が対応してくださったことが林野庁の仕事に興味を持ったきっかけです。様々な方面から森林に関わる業務がある林野庁に魅力を感じ、入庁を決めました。

FORESTER 森林官紹介



菅 沼 りりこ

中部森林管理局南信森林管理署
森林官(大鹿担当区)
H29入庁 一般職(林学)

現在の仕事内容

大鹿森林事務所は、長野県下伊那郡大鹿村に位置しています。大鹿村には中央構造線が走り、山の中で塩水が湧き出す、ダイナミックで不思議な美しい秘境です。管轄する森林は、赤石山脈(南アルプス)の赤石岳などを含む大鹿村内の国有林です。人工林・天然林比は1対9で天然林が多く占めており、登山者を中心に多くの方に利用されています。日頃の仕事としては、林野巡視、貸付する土地の現地確認、子ども向けに森林ふれあい教室を開催するなど、様々な業務を実施しています。また、森林での仕事以外にも、市町村、県、消防職員と協力した山火事予防パレードや、会議への出席もあり、外部の方々との連携も重要な業務です。多様な業務がありますが、地域に親しまれる国有林を意識して、日々の業務を行っています。

やりがい

大きな組織であればあるほど、多くの人が関わり、様々なながりが重なり、自分の思い通りに仕事をするのが難しくなるかと思えます。しかし、森林官は、「一国一城の主」とも例えられるほど、自分の思うままに仕事ができます。自然が好きと同じくらい、人との調整能力が問われるポジションでもありますが、何といても、現場の第一線で地元の人々の声を聞き行動できる、かっこいい仕事です。

林野庁を目指す方へメッセージ

森林官は、私の小学生の頃からの夢でした。森林官になるためには、まず国家公務員試験に合格し、林野庁職員として採用され、様々な業務を経験したのちに、ようやく辿り着くことができます。林野庁を1つの会社だとすると、日本一の大地主の会社に勤めていることとなります。ある人から、森林を施業するには曾祖父母の代から曾孫の代まで7世代を考えるとと言われました。人よりもかなり長い時間を生きている森林を相手にする仕事は、とても誇り高いものです。

VOICE
09

ある日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤、メール確認**
まずはメールやスケジュールを確認して、1日の業務予定を立てます。あらかじめ、前日に予定を立てておきますが、突然の来客や天気の変化などに対応するために予定はぎりぎりまで固まりません。一人で管轄する面積が約800haと広大なので、一度で近場の仕事を複数こなせるように段取りします。
- 9:00 ● データ整理**
昨日取った現場のデータを午前中にまとめます。
- 11:00 ● 現地調査等**
管轄する国有林の林況の調査、事業契約をしている業者から報告のあった現場の状況把握、風倒木の処理、荒れた道の整備、土地の貸付契約をしている現地確認などをします。
- 12:00 ● 昼休憩**
森の中で食べるおにぎりは室内で食べるよりもおいしいので、なるべく外で昼食を取れるように段取りし、それを仕事のモチベーションにします。
- 16:00 ● 事務所へ帰所、データ整理等**
現場のデータを記録し、明日の現場へ行くための段取り(地図の印刷や過去の様子の確認)をします。
- 17:15 ● 業務終了**
急ぎの案件がなければ定時に業務を終えます。事務所兼住宅なので、扉を開ければすぐ自宅です。



5年に一度計画を編成する「施業実施計画」の立案のため、伐採候補地の林況調査を実施している様子。



丸太のひび割れ拡大の抑制のため切断面に「S管」を打つ様子。



林業専用道崩壊箇所の調査。川の水を通していたコルゲート管の大きさを測っている様子。

SECONDEE 出向者紹介



増田 千恵

岐阜県飛騨市役所農林部林業振興課
林務係長
R03入庁 総合職(森林・自然環境)

VOICE
10



地元猟友会と岐阜大学と共同でサル檻を設置します。

現在の仕事内容

市役所は市民最前線の職場です。市民や事業者、県等と連携しながら、伐採届の受付や森林所有者への意向調査、手入れ不足の森林の集約、補助制度の活用支援、森林環境譲与税の活用、市の森林管理等幅広い仕事をしています。クマが市街地に出た際は、警察や猟友会、学校等と協力して放送や見回り、捕獲対応も行います。また広葉樹のまちづくりとして、林業事業者や地元の製材所、家具メーカーと繋がり、多様で曲がりの多い飛騨の広葉樹を価値ある家具材として使えるように取り組みを進めています。

職場の雰囲気

少人数で幅広く仕事を担うため忙しさはありますが、個人の意見が尊重され、スピード感ある挑戦しやすい職場です。他部署と距離も近く、相談や交流が気軽にできる雰囲気です。職場からは四季折々の北アルプスが望め、古い町並みでは小京都の風情を感じます。農家さんとやり取りも多く、地域や人に大切にされている実感があります。

印象に残った出来事

飛騨市は2050年に人口半減する見込みで、従来の森林整備のやり方を見直す必要があることから、今後の市の森林管理の方向性を示す森林づくり構想の策定を始めました。飛騨市と岐阜大学との共同研究成果など最新のエビデンスを取り入れつつ、地元の思いも汲みながら進めています。結果、従来の方向から転換し、飛騨の自然や風土に合うよう、人手をなるべくかけない自然の仕組みに倣った多種共存の森づくりをしながら、多様で曲がりの多い飛騨材を地元製材所と家具メーカーと一つになって使っていく方向にまとまりました。力不足ではありましたが、現場の声を生で聞きながら自分の得意分野を活かしたことで、地域の思いに少しでも答えられたことは大きかったです。

現在の仕事内容

国連機関FAOの本部が置かれているローマで、持続可能な森林経営と木材利用について情報収集・分析を担当しています。併せて、日本が拠出金での支援を予定する、森林の生物多様性を保全しながら森林資源を循環利用することを普及させる国際協力プロジェクトの立ち上げを担当しています。現在は主にプロジェクト開始に向けた事業計画の策定や、実証を行うアジア・アフリカ地域の対象国に関する情報収集や関係者との調整、FAO内部の手続きを進めています。

やりがい

国連機関というダイナミックな環境で働けることにやりがいを感じます。また、技術協力プロジェクトは、SDGs、そして日本が国際社会に約束した持続可能な森林経営と木材利用促進への貢献、さらには日本を含めた国際社会に流通する林産物・農産物の環境にやさしいサプライチェーンの構築につながると考えています。そのような広範な取り組みに携われることに強い責任と誇りを感じます。

印象に残った出来事

国際イベントの場で、日本の森林経営の優れた事例をプレゼン発表した場面が非常に印象的でした。各国からの参加者に向けて紹介する際には、入庁2、3年目で国有林業務を担当した経験から自分の言葉で話すことができ手ごたえを感じました。一方で、国内では当たり前だった林野行政制度の特徴や、林業従事者数の減少や獣害といった課題が海外では当たり前ではないと気づきました。世界の事例と相対化の中で、日本の森林や林業の現状の特異性を認識し、こうした特長を国際社会に発信していくことの意義を感じました。

VOICE
11



多言語イベントには英語翻訳の音声で参加します。

CAREER PATH キャリアパス

入庁後は2〜3年程度のサイクルで異動し、様々な業務を経験しながらキャリアアップしていきます。



係員級

係長級

課長補佐級

管理職

他機関への出向

- ・地方公共団体(県庁、市町村)・他省庁(環境省、国土交通省等)
- ・在外公館(大使館、領事館)、国際機関(FAO等)、JICA等



保坂 太郎

林野庁林政部木材産業課
課長補佐(企画班担当)
H19入庁 Ⅰ種(農学Ⅲ)

- H19 林野庁森林整備部研究・保全課 係員
- H20 近畿中国森林管理局鳥取森林管理署佐治森林事務所 森林官
- H22 近畿中国森林管理局計画部計画課 経営計画第四係長
- H23 農林水産省 出向
- H25 林野庁国有林野部業務課総務班 総括係長
- H27 林野庁国有林野部経営企画課総務班 総括係長
- H28 茨城県大子町役場 出向
- H31 林野庁森林整備部計画課 森林計画官
- R04 林野庁国有林野部業務課 課長補佐(総務班担当)
- R06 林野庁林政部木材産業課 課長補佐(調整班担当)
- R07 林野庁林政部木材産業課 課長補佐(企画班担当)

本庁から地方勤務まで様々な立場を経験しました。入庁2年目は、鳥取県で国有林の管理を担いました。作業道の線形を検討したり、時にはスギに混じったクリを残す間伐を計画したり、現場の森の未来を考え実践しました。休日は集落林業などの地域活動も楽しみました。本庁に戻り、国有林野部では、現場予算の確保に向け財務省と調整したり、新技術を活かした林業を全国展開するべく森林管理局と議論を重ねました。入庁10年目には、茨城県大子町に出向し、まちづくり担当課長として、空き店舗や食を活かした街の賑わいづくりなど、森林以外の仕事にも携わりました。

そして今は木材産業課で、国産材を供給する製材工場などの課題解決や、街の木造化促進に向けた取組を行っています。特に、近年はゼネコンや大手企業から木造化の関心が高まっており、そうした企業の話はとても刺激的です。日々、建築など新しいことを勉強しながら、施策や仕組を少しでも改善できるよう努めています。



高梨 清美

東北森林管理局仙台森林管理署
総括治山技術官
H18入庁 Ⅱ種(林学)

- H18 林野庁国有林野部職員・厚生課 係員
- H19 東北森林管理局庄内森林管理署治山課 治山第一係長
- H21 東北森林管理局三陸中部森林管理署業務課 森林育成係長
- H22 育児休業
- H26 東北森林管理局治山課海岸防災林対策室 海岸防災林技術官(仙台森林管理署駐在)
- H29 東北農政局 出向
- H31 東北森林管理局宮城北部森林管理署 事務管理官(総務担当)
- R02 東北森林管理局宮城北部森林管理署 主任事務管理官(総務・経理担当)
- R03 東北森林管理局宮城北部森林管理署 主任森林整備官(経営・森林ふれあい担当)
- R06 東北森林管理局仙台森林管理署 海岸防災林再生専門官
- R07 東北森林管理局仙台森林管理署 総括治山技術官

豪雨や地震等で被災した森林を復旧する土木工事や海岸防災林の保育管理、保安林の手続き業務などを行う治山グループのリーダーとして、事業全体の運営と進捗管理を行っています。工事を担当しつつ、業務量の偏りがなければ、一人で抱え込んでいないかなどグループ職員にも目を配らせる必要があり、時には相談も聞く仕事はまだ慣れず反省と勉強の毎日です。

私の経験の中で印象に残っている業務は、東日本大震災で被災した海岸林の復旧業務です。未曾有の災害からの復旧は予期せぬ問題が度々発生し、その度に最善策を模索するトライアンドエラーの連続でした。私自身は子育てもあり勤務時間が制約されていた中でしたが、諸先輩方から沢山のフォローをいただくとともに仕事の回し方や外部交渉のノウハウ、仕事への取り組み姿勢など沢山の事を教わり今の業務の礎となっています。苦労は絶えませんが、「経験は宝なり」となりました。

TRAINING 研修制度

新規採用職員や若手職員、課長補佐向けなど各階層で必要なスキルを身につけられる研修のほか、業務に必要な専門的知識を学べる研修や、各自がスキルアップのため希望して受講できる研修があります。研修は各森林管理局や森林技術総合研修所、農林水産研修所などで行われる集合研修のほか、オンライン研修、オンデマンド教材を用いた研修など様々な研修が実施されています。

総合職		一般職	
		係員	係長・課長補佐級
● 国家公務員合同初任研修	● 総合職試験採用者研修	● 新規採用研修	● 係長養成研修
● 初任行政研修	● 実践的研修(法令制度、予算業務、国会業務)	● 基礎全般研修	● 係長フォローアップ研修
● メンター研修	● 行政研修	● 基礎研修A(森林の見方)	● 課長補佐等養成研修
● 幹部候補育成課程係長研修	● 幹部候補育成課程課長補佐等研修	● 基礎研修B(森林の育成)	● 課長補佐等フォローアップ研修
		● 基礎研修C(森林の収穫)	
		● 職場内研修(OJT)	
		● 総務系基礎研修(※総務系キャリアパス向け)	
		● 通信研修(基礎フォローアップ)	

※一般職(行政・事務区分)の職員は、採用時に総務系業務(総務・経理・管理等)を中心にキャリアを積んでいく「総務系キャリアパス」を選択することができます。

業務研修			
業務の遂行に必要な知識・技術を習得したり、個人のスキルを高めるために受講できます。			
● 森林官養成科研修	● 治山研修	● チェーンソー伐木造材研修	● 木材安定供給研修
● 森林整備研修	● 林道技術者育成研修	● 木材産業・木材利用研修	● 路網計画研修
● 公文書管理研修	● 森林総合監理士育成研修	● 山村振興・地方創生推進研修	● 森林保護管理研修
● 会計実務研修	● 森林計画研修	● 外国語能力等向上研修	
● ITパスポート研修	● 森林土木(ICT活用)研修	● 里山広葉樹利活用推進研修	

※研修は一部を抜粋



NEW GRADUATE 新規採用職員の声

入庁の決め手は？

大学での研究を通じて、森林経営は制度と現場を結びつけて考えることが重要だと感じました。国有林を管理する立場で、施策を実際の森林に反映させながら、長期的に日本の森林に関わりたいと思い、入庁を決めました。

入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

想像していた以上に柔軟な働き方ができる点です。テレワークやフレックス制度を活用しながら、ライフスタイルに応じて働き方を調整している方が多いことが印象的です。

後藤 朱音

林野庁国有林野部経営企画課
総合職(森林・自然環境) 農学部



林野庁の魅力は？

小さなトラブルも大きなトラブルも周りの人たちが助けてくれる点です。職員同士でサポートし合える体制や雰囲気がある職場で、研修制度もしっかりしているので、専門知識が分からなくて心配している人でもなんとかなると思います。

手塚 和仁

四国森林管理局香川森林管理事務所
一般職(林学) 農学部



林野庁の魅力は？

現場に赴く機会が沢山あり、雄大で厳しくも美しい自然を間近に感じられることが大きな魅力です。四季折々に変化する森林の姿を目にしつつ、自然と向き合いながら課題に臨む過程は、責任感とやりがいを強く感じられます。

今野 尊

東北森林管理局津軽森林管理署
一般職(行政) 地域政策学部



入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

想像以上に多様な経験ができることに驚きました。担当以外の業務に関しても同行や研修を通して経験が積めるため、森林について様々な角度から知見を深めることができ、日々楽しく仕事をしています。

白井 朋香

中部森林管理局富山森林管理署
一般職(林学) 農学部



入庁の決め手は？

森林を守りたいという思いから林学について勉強を進めるうちに、林野庁ならば公益性を重視した計画のもと、運営や事業を行えると感じ入庁しました。また、気候や環境の違う森林に関わる機会になると考えたため、異動が伴うことも決め手の一つです。

山崎 央

関東森林管理局吾妻森林管理署
一般職(林業) 環境緑地科

入庁の決め手は？

国の行政機関として、国民全体の利益を最優先にこの国の森林を管理・経営する林野庁の仕事に惹かれました。今の日本の林業が抱えている様々な課題に対して、林野庁という組織の下で働きたいと思い、入庁を決めました。

石本 珠哉

近畿中国森林管理局山口森林管理事務所
一般職(林業) 環境科学科



入庁前と入庁後のギャップはありましたか？

全国各地に勤務する林野庁職員の環境や業務内容は非常に多種多様で、場所が異なることで森林の管理・経営方法に大きな違いがあるなどとても驚きました。日本の森林を守るために働く先輩方を見て、自身の仕事のモチベーションにもつながりました。

林野庁の魅力は？

国家公務員でありながら現場での業務も経験でき、直接森林に触れながら仕事ができる点です。普段はデスクワークが中心ですが、他の職員の出張に随行させていただけることがあり、実際に山に入って森林を見る機会があるのが魅力だと思います。

澤村 花梨

九州森林管理局総務企画部企画調整課
一般職(行政) 法学部



ONE DAY 新規採用職員の日



現在の仕事内容

計画課は林野公共事業や、森林計画、施工基準の策定などを行う、民有林行政のとりまとめ課です。また、森林・林業に関する国際協力についても所管しています。その中で私は計画課の窓口業務を行っており、日々作業依頼や情報に関係者に連絡しています。また、関係課の意見をとりまとめる業務を担当することもあります。私自身、予算や国会、基本計画など日々様々な業務を通して林野行政に関わることができ、大変やりがいを感じています。

休日の過ごし方

終業後は、家でドラマを視聴したりします。休日は、午前中は動画を見たりしてゆったり過ごし、午後は友人と会食をすることが多いです。また、旅行に行ったりもします。昨年は職場の同期と草津温泉に旅行に行きました。休日にリフレッシュすることでメリハリを持って仕事に取り組んでいます。

ある日のスケジュール

- 9:30 ● 出勤
まずはメールやスケジュールを確認して、1日の業務予定を立てます。
- 10:00 ● メール展開
依頼内容が伝わるよう工夫して課内にメールを展開します。
- 12:00 ● 休憩
息抜きで同期と外にランチを食べに行きます。
- 13:00 ● 関係課と業務の打ち合わせ
複数の課にまたがる業務について、進め方や進捗状況等を相談します。
- 15:00 ● 一般の方からの電話対応
一般の方から問い合わせの電話がある場合、担当の班につなぎます。
- 16:00 ● 総括と業務の打ち合わせ
課内から出た意見を、自分で整理してから総括に説明・相談をします。
- 18:30 ● 業務終了



現在の仕事内容

管理担当は文字通り、国が所有する森林の管理全般を担っています。国有林野の貸付・使用などの手続き、土地の境界管理、国有財産の管理、入林に関する手続きなど、業務内容は多岐にわたります。業務の中で外部の方とやりとりをする機会が多く、日々打合せや電話対応を行っています。また、若手職員として、ふれあいや広報にも携わっています。植樹会への参加や署の広報誌作成など、担当業務以外にも様々なことを経験しています。

休日の過ごし方

休日は隣町まで買い物に出かけたり、読書やゲームをして家でゆっくり過ごしたりします。気まぐれで近場のカフェや喫茶店を巡ったりもしています。時々署の先輩とご飯に行くこともあり、充実した休日を送っています。平日夜には週2回、弓道をやっています。まだまだ初心者ですが、上達に向け楽しみつつ練習しています。

ある日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤
- 8:45 ● 貸付地へ出発
- 10:00 ● 到着、貸付地現場確認
貸付更新のため、現地の状況を確認します。
- 12:00 ● 休憩、移動
- 14:00 ● 森林管理署へ帰署、メール確認
- 14:30 ● データ整理、書類の確認
現地で撮影した写真の整理や、現地確認の報告書を確認します。
- 15:00 ● 書類作成、外部対応など
外部の方との打合せ等が入ることも多いです。
- 17:15 ● 業務終了



WORK LIFE BALANCE ワークライフバランス

林野庁では、ワークライフバランスの推進に向けて、各種制度が利用できる職場環境づくりに取り組んでいます。育児や介護を行う職員はもちろん、全ての職員がライフスタイルにあった働きやすい職場となることを目指しています。



高野 理洋

林野庁国有林野部管理課労務管理班労務管理係長
H18入庁 Ⅱ種(林学)

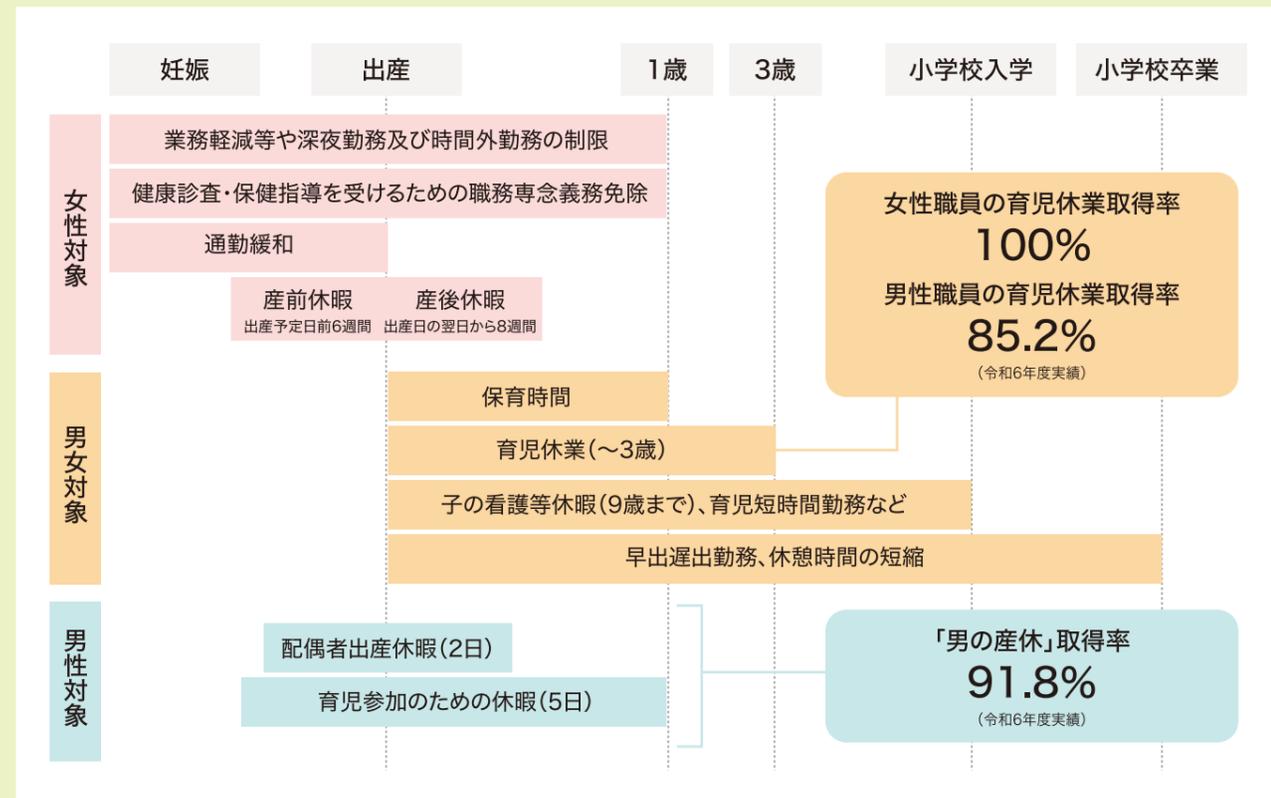
ワークライフバランスについて

仕事と育児の両立支援制度を活用しながら2人の小さい子どもを育てつつ共働きしています。保育園の送迎は送る方が遅出勤務で出勤時間を遅らせ、迎えに行く方が早出勤務で退勤時間を早める、といった育児の役割に応じて勤務時間を柔軟に変更することで対応しています。併せて、テレワークの積極的な活用等も通して、フルタイムで業務を進めることが出来ています。妻の産後のフォローも含めて育児休業も取得し、子どもたちと朝から晩までずっと一緒に過ごせた時間は、家族の大切さを再確認する、とても貴重な時間でした。

林野庁を目指す方へのメッセージ

近年、仕事とライフイベントを両立するための支援制度が充実してきており、周りにも育児休業を取得する男性職員が増えてきたと実感しています。可愛い盛りのお赤ちゃんの世話はその時しか出来ず、あつという間に大きくなります。両立支援制度を活用しながら育児をすることで、ころころと変わる子どもの表情を見て、そして毎日出来ることが増えていく、そんな子どもの成長を感じることが出来ます。この働きやすい林野庁の職場で是非、家族との大切な時間も充実させてみませんか。

仕事と育児の両立のための主な制度



多様な働き方の制度

テレワーク勤務

職員に1人1台パソコンを貸与しており、職場に出勤せず自宅等で勤務することができる制度です。

フレックスタイム制

総勤務時間数を変えないまま、1日あたりの勤務時間を調整できる制度です。(コアタイムあり)

早出遅出勤務

1日の勤務時間を変えずに、始業時間を変更できる制度です。

RECRUITMENT 採用情報

採用予定試験区分とよくある質問の回答です。試験情報の詳細は人事院HPをご確認ください。

採用予定試験区分		
総合職(院卒者・大卒程度)	一般職(大卒程度)	一般職(高卒者)
森林・自然環境、デジタル	林学、土木、建築、デジタル・電気・電子、機械、物理、化学、教養、行政	林業、農業土木、技術、事務

採用後の待遇	
初任給	総合職(院卒)255,600円、総合職(大卒)242,000円、一般職(大卒)232,000円、一般職(高卒)200,300円 俸給は職歴等によって、この金額に加算される場合があります。
諸手当	勤務地域に応じた地域手当のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、超過勤務手当などがあります。また、賞与(期末手当・勤勉手当)が年2回支給されます。
勤務時間	1日7時間45分
休暇	年20日の年次休暇(4月1日採用の場合、採用の年は15日)。20日を限度として翌年に繰り越し可能です。そのほか病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・子の看護・ボランティア等)、介護休暇があります。

採用FAQ

Q 総合職と一般職の違いはなんですか？

総合職は本庁などで政策の企画・立案を行う機会が多いのに対し、一般職では森林管理局・署など森林・林業の現場で働く機会が多くなっています。人事交流も盛んに行われており、総合職・一般職ともに様々な経験を積むチャンスがあります。

Q 現場(森林)へ行くために体力が必要ですか？

ある程度の体力は必要ですが、日々の業務の中で次第に慣れ、問題なく仕事ができるようになります。入庁前まで山に入ったことが無かった方も、森林官など現場の第一線で活躍しています。

Q 行政や事務区分で入庁しても活躍できますか？

林野庁では試験区分による仕事内容の違いはありませんので、行政・事務区分の採用者も現場に行って技術系の業務を担うことができます。また、総務系の業務を希望する場合には、総務や経理、土地の管理などの業務を主としてキャリアを積んでいく「総務系キャリアパス」を選択することもできます。実際に行政・事務区分で採用された方は技術系・総務系の幅広い業務で活躍しています。

Q 宿舎はありますか？

各地に単身者用宿舎や世帯用宿舎があり入居することができます。また、宿舎に入居せず、民間賃貸住宅を借りた場合には、家賃額に応じて最大28,000円の住居手当が支給されます。

Q 転勤の頻度や範囲はどうなりますか？

異動は2～3年のサイクルであります。転居を伴う異動もあれば、同じ部署内で係が変わるだけの異動もあります。異動の範囲としては、総合職採用の場合は、1年目は本庁勤務、2年目から4年目程度までは地方出先機関等で勤務します。その後は本庁勤務を中心として、他省庁や地方公共団体等への出向を経験することもあります。一般職採用の場合は、最初に採用された森林管理局管内での異動が基本となります。希望によっては他の森林管理局管内や林野庁本庁への異動、他機関への出向を経験することもあります。

Q どのような人材が求められますか？

林野庁では様々な角度から森林・林業に関わっていくため、その業務は広範多岐にわたります。それぞれの業務に必要な専門的知識は入庁後に身につけていくこととなりますので、特定分野に偏らず広い視野を持って意欲的に学んでいくことが求められます。また、仕事は関係者との連絡調整が必要な場合もあるため、上司や同僚、外部の方とも良好な人間関係を築く能力も必要です。

Q 残業や休日出勤はありますか？

残業の程度は部署によって異なりますが、メリハリをつけて仕事ができるよう週2日定時退庁日を設けて、超過勤務削減に向けて取り組んでいます。また、休日出勤は基本的にありませんが、急な対応を要する場合などには出勤することがあります。その際には振替休日などの制度を利用することができます。